

京橋の印刷

8月5日1994・No.89

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 3552-1855

発行人
荒川龍治



中央大橋より佃のリバーサイドシティを望む

心技体をもつて

支部長 荒川 龍治

新たな潮流は今まさにその勢を増しつつあります。政治、経済をはじめとする社会構造の変革、および技術革新、特にわれわれ印刷産業に於けるそれは真に大きなものがあります。この激動の時、京橋支部の支部長という大役を仰せつかり、真に身の引き締る思いがいたしております。しかし、この様な時代であるからこそ執行部の皆様と共に誠心誠意、支部運営に努力して参りたいと思っております。

先ず第一に諸先輩をはじめ支部組合員の皆様が七十年に亘り築かれた歴史と伝統、更に近代印刷発祥の地としての誇りを心として、第二に激しく革新する技術に対して臆することなく常に進んでこれを理解し習得していかなければならないと思っております。第三に当支部に於いては、プレスを中心として、プリプレスとポストプレスなど印刷産業全体としての作業交流と支援体制があり、地域としての生産システムが整備され、所謂体力のある支部という恵まれた特質を持っています。

このように「心技体」をもって、東印工組の野村新理事長が提唱される「組合は共に栄える工夫と情報の発信地」というテーマに応える支部として、支部組合員と共に益々の繁栄を期して参りたいと思っております。皆様の力強いご指導とご協力を心よりお願い申し上げます。

平成 6 年通常総会開催

於・中央会館

5月19日(木)、18時より、中央会館にて恒例の京橋支部通常総会が開催されました。松川副支部長の司会、開会の挨拶で始まり、神林支部長が挨拶で次のように2年間の感想を述べました。「本日はご来賓の皆様、並びに支部員の皆様、多数ご出席下さいまして厚く御礼申し上げます。さて国内の景気はご存知のように低迷を致しております。戦後最長の不況継続記録、37ヶ月を続けているという事で、未だ厳しい環境の中、私共支部執行部も本日の総会をもって退任させて頂くわけですが、振り返りまして2年前に、私は伝統ある京橋支部の支部長の大役を仰せつかりまして、その間、本部常任理事の小山さんを始め、執行部の皆様方、支部員の皆様方の暖いご協力を受けまして、数多くの思い出ある支部事業を相務めさせて頂いたのでございます。

皆様のご厚情に対しまして心から御礼申し上げます。長寿者の集いや永年勤続表彰もございました。そして特に昨年9月17日に行いました、京橋支部70周年記念事業は、皆様方ご承知のように盛大に開催出来ました事を、昨日のように思い出されます。その蔭に於きましては、顧問・相談役・参与の会に於きましても、身に余る励ましのお言葉を頂戴致しましたり、又各地



区に於きましては地区長さんの努力によりまして、全員参加意識という中で、それぞれ連帯感と協調の精神を肌と感じ、終生忘れられない思い出となっております。本日は総会ですので、これから皆様方に、審議をお願いする訳ですが、事業報告、決算報告、並びに収支予算案につきまして、充分にご審議戴きたいと思っております。特に予算案につきましては、台所事情が苦しく、昨年70周年事業で定期預金を取り崩しまして、その結果、次期執行部へお渡しする繰越金が大変ひっばく致しております。次期執行部の方には大変恐縮でございます。大変心苦しく思っております。しかし幸いにしまして、優れた能力と見識の荒川次期支部長候補が、本日新しい執行部として門出を、順風満帆の船出をする事を皆様方とお祝いし、激励を戴ければ私は幸いだと思えます。又私は2年間に亙りまして思い出が多く、又反省させて頂いております。私共未熟な執行部に対しまして、心ある暖いご厚情とご指導を賜り、ここに改めてお礼を申し上げます。次第であります。最後に皆様方の社業の増々の発展とご健康を祈念申し上げます。執行部を代表致しまして、退任のご挨拶とさせて頂きます。ほんとに有難うございました。(拍手)

次に議長、副議長の選出に移り、司会者一任の声により、松川司会が議長に入船地区、文寿堂印刷(株)佐藤氏、副議長に榎本印刷所榎本氏の2名にお願いし拍手で選出されました。佐藤議長の議事進行で、第1号議案、平成5年度事業報告が荒川副支部長により説明されました。

続いて第2号議案平成5年度収支決算報告が水野副支部長により説明された後、同監査報告が金山・坂田監査によりなされた後、両議案の採決が諮られて、拍手の内に承認されました。

次に第3号議案平成6年度事業計画案が荒川副支部長により、第4号議案平成6年収支予算案が水野副支部長により、それぞれ行われて、質疑応答が諮られましたが、これも拍手でもつ



て承認されました。最後に第5号議案次期役員
の承認及び紹介が神林支部長により行われ、議
長席の前に並んだ後、佐藤議長により承認を求
める声で、大きな拍手で次期執行部は承認され
ました。神林支部長により紹介された荒川次期
支部長は、次のように挨拶を致しました。

「只今ご紹介を戴きました荒川でございます。
先の新年臨時総会に於きまして支部長候補とし
てご推薦を賜りました。そしてこの総会に於き
まして他の7名の部長、監査の方とご承認を賜
りました事に対しまして、大変光栄に思います
と共に、心から厚く御礼を申し上げます。しか
し、京橋支部の支部長という大役を考えますと
誠に身の引き締まる思いがしております。私共
が申し上げるまでもなく、この京橋支部は誠に
伝統のある支部です。昨年9月に70周年記念事
業を終え、皆様諸先輩を始めとして、組合員の
皆様が築かれた誠に光輝ある歴史と伝統があり
ます。私はこの歴史と伝統を心として、支部の
運営に当たって行きたいと思っております。そして先程
来、ご説明申し上げましたように我々を取り巻
く社会構造の変革というものは、我々業界にあ
りましては、技術の革新というものは非常に急
速な進歩を遂げつつあります。しかし私共はこ
れに臆する事なく、常に進んでこれに当り取入
れて行かなければならないのではないかと思っ
ております。私共の京橋支部は印刷業の中心地
として、プリプレス、又は製本を中心とするポ
ストプレスという、業界産業全体としての体制
というか、生産システムが非常に整備された地

域と特殊性を持っています。それに加えまして
中央区工業団体連合会を通じまして、その中の
最大の構成メンバーとしての自負もございま
すし、活動しておりますが、その工団連を通じて
中央区行政とも、地場産業の確立と発展に心し



て参りたいと思ひます。このように70周年に互
る歴史と伝統を心に、又新しい技術を身につけ、
地域としての素晴らしい体力をもつて、これを心
技体と致しまして、私共は支部の運営に皆様と
共に進んで参りたいと思ひます。しかし乍ら、
如何せん甚だ浅学非才な私でございますが、諸
先輩を始めとして支部員の皆様のご指導、ご鞭
撻を合せてご支援を戴き乍ら進んで行きたいと
思ひます。何卒よろしくお願致します。終りに
ご出席の皆様、支部員の皆様のご繁栄、ご健勝
を祈念致しまして、私の就任の挨拶と致します。
よろしくお願致します。(拍手)

最後に来賓者の紹介が松川司会によつて行わ
れ東印工組田島副理事長、中央区工団連平林会
長、中央区河野商工課長、東製工組京橋支部岸
田副支部長が紹介された後、東印工組田島副理
事長が挨拶で次のように述べました。

「只今紹介に預りましたが、私も京橋支部員の
一人でありまして、ここに出てご挨拶申し上げ
る立場ではないのですが、今日は野村理事長が
抛所ない所用のため、私が代りまして一言、ご
挨拶させて戴きますが、皆様方には呉々もよろ
しくお伝えして欲しいと言付かつて参りました。
只今は総会が滞りなく終了されました事を、お
喜び申し上げます。又平素は組合運営につきま
して支部長を始め執行部の方々や支部員の皆様
にご協力戴いております。一言お礼を申し上げ
ます。又総会に於きまして新旧役員が交替され、
前支部長や執行部の方々には本部並びに、運営
につきましてご尽力下さいました事を深く感謝

申し上げます。又新しい支部長さんや執行部の
方々にはこれ迄どうりご尽力賜りますよう宜
しくお願致します。又小山さん、篠倉さん
は常任理事として本部でご尽力戴けます事を、
特に小山さんには前期に引続き、本部でご活躍
戴く事は感謝にたえません。どうぞ一つ、宜し
くお願致します。さて去る4月7日、総代会
に於きまして、野村執行部が承認されました。
執行部としましては、まず基本方針として組合
は共に栄える事と、情報発信基地をキャッチフ
レーズにしながら考えてございます。個々では
仲々解決できない事も皆で力を出し合い、団結
して我々の権利を守つて行く事が組合の原点で
あると考えております。又当然の事ではござい
ますが、業界の地位の向上を目指していく事、
これが肝要かと思つております。

業態の内容から言ひましても、以前から高い
評価を得て然るべきだと思ひますが、我々は地
位の向上を計り、若い優秀な人材が業界に入つ
て来るようにして行かなければならないと思ひ
ます。又これから平成6年度の主な事業としま
しては、第4次構改、並びに産業構造高度化の
推進でございます。東京都の中にありまして最
大の地場産業としまして、増々進展する技術革
新に対応して行かねばなりません。

本部としましても電子化の問題を始めこれら
の啓蒙に力をそいでいく所存でございます。
二つめにはプリンテック'94東京が今年開催さ
れます。これを成功へと導くために新しい施策
をもつて対応していく積もりでありますので、

どうか皆様方もご支援戴けますよう切にお願
致します。記念式典につきましては組合設立45
周年式典を開催する予定でございます。前回は
100周年記念式典を開催致しましたが、これは東
京に印刷組合が出来て100年になったのを記念し
て、東印工組が主体となつて記念式典を行った
ものですが、東印工組自身としましては、昭和
24年に協同組合を設立致しました。その時には
当支部の大先輩でございます高橋与作さんが初
代理理事長に就任されております。これから起算し
て今年が45周年に当りますので、その式典を開
催する予定であります。その他多々事業を計画
しておりますが、これらの事業が計画どおり出
来ますようにご支援、ご協力の程を切にお願
申し上げます。栄えある伝統を持った長い歴史
のある東印工組最大の支部でございます。増々
の発展と皆様の企業の増々のご繁栄、皆様方
のご健勝を祈念申し上げます、ご挨拶とさせて
戴きます。本日はおめでとうございました。

(拍手)。次に中央区工団連会長の平林智司氏
が工団連への協力の御礼を述べ、又遅れて駆け
つけた矢田中央区長が日頃の区政への協力へお
礼の言葉を述べた後、宮入副支部長の閉会の辞
で閉幕しました。続いて隣室で懇親パーティーが
行われました。まず石澤顧問による、挨拶につ
づき、大声で乾杯の発声が行われて、一同これ
に和して祝杯をあげた後、それぞれに歓談に花
を咲かせました。しばし飲物で喉をうるおした
所で、本部出向役員の紹介が行われ、田島副理
事長、小山常務理事、篠倉常務理事が登壇して

挨拶しました。続いて本部特別委員として、荒川事務用委員会委員、水野管理・営業教育委員、岩尾プリンテック委員の3名がそれぞれ挨拶しました。続いて、京橋支部印刷人青年会の新役員、小山会長、森山副会長、小宮山副会長、田嶋会計幹事の紹介があり、小山会長が挨拶しました。その後、再び歓談が続いて、8時過ぎに斎藤顧問の中締の挨拶に続き、三本締めが景気よく行われて、皆さん、よい気分帰路へと向かいました。

(文責・岩本)



地区新役員紹介(敬称略)

| | | | | | |
|-------|-------|------------|--------|-------|-----------|
| 京橋地区長 | 山口 順治 | (株)モリイチ | 湊地区長 | 青柳 晴男 | (有)青柳印刷所 |
| 同 幹事 | 細田 益造 | (株)金陽社印刷所 | 同副地区長 | 浅野 知一 | 協和美術印刷(株) |
| 銀座地区長 | 松岡誠一郎 | (株)文海堂 | 同 幹事 | 中山 英男 | (有)中山印刷所 |
| 同 幹事 | 小張 和夫 | (株)興進社印刷所 | 同 幹事 | 市川 重男 | (株)三和印刷社 |
| 同 幹事 | 児玉昭太郎 | (株)京屋 | 同 幹事 | 山本 庄一 | 湊印刷所 |
| 同 幹事 | 山中 達男 | 正栄堂印刷(株) | 同 幹事 | 松本 尚武 | (有)松本印刷所 |
| 同 幹事 | 植木 重光 | 日本浮出印刷(株) | 同 幹事 | 八代東海夫 | 八代印刷工業(株) |
| 新富地区長 | 山内 治夫 | (株)光雄社印刷所 | 同 幹事 | 宮川 良一 | (有)宮川印刷 |
| 同 幹事 | 竹山 宗次 | (株)シール竹山 | 同 幹事 | 西山 昇 | 西和印刷(株) |
| 同 幹事 | 小宮 昭夫 | (有)東昭 | 八丁堀地区長 | 石澤 勉 | 石澤印刷(株) |
| 築地地区長 | 春原 英夫 | (有)すのはら印刷所 | 同 幹事 | 白橋 達夫 | (株)白橋印刷所 |
| 同 幹事 | 佐野 務 | 大興印刷(株) | 同 幹事 | 三田村昇二 | (株)三田村印刷所 |
| 同 幹事 | 鈴木 英夫 | 熊谷印刷(株) | 同 幹事 | 朝川 健二 | 朝川印刷工業(株) |
| 入船地区長 | 松橋 強 | (株)王友社 | 同 幹事 | 井上 秀一 | (有)文星堂 |
| 同 幹事 | 小林 秀達 | 三秀印刷工業(株) | 新川地区長 | 荻野 耕作 | 荻野印刷(株) |
| 同 幹事 | 和田 博邦 | (有)和田美術印刷所 | 同 幹事 | 荒井 和男 | (株)荒井美術 |
| 同 幹事 | 赤澤 忠文 | (有)赤澤印刷 | 同 幹事 | 石井 治久 | (有)幸文社 |
| 同 幹事 | 武村 直明 | 光信印刷(株) | 同 幹事 | 堀江 昌宏 | 三秀(株) |
| 同 幹事 | 坂本 俊彦 | 音和堂印刷(株) | 月島地区長 | 岸 健作 | (有)岸印刷所 |
| | | | 同 幹事 | 増田 勝彦 | (株)長正社 |

平成 6・7 年度京橋支部新役員



副支部長
関 根 勝
日昇印刷(株)
(会 計)



副支部長
十文字 康 雄
三雄舎印刷(株)
(総 務)



支部長
荒 川 龍 治
誠文社印刷(株)



副支部長
石 井 精 二 郎
安信印刷工業(株)
(総 務)



副支部長
山 崎 隆 三
有山崎屋東商印刷
(総 務)



副支部長
中 島 康 信
中信社中島印刷(株)
(総 務)



中央区産業文化展 特別委員
岩 尾 純 一
(株)一九堂印刷所



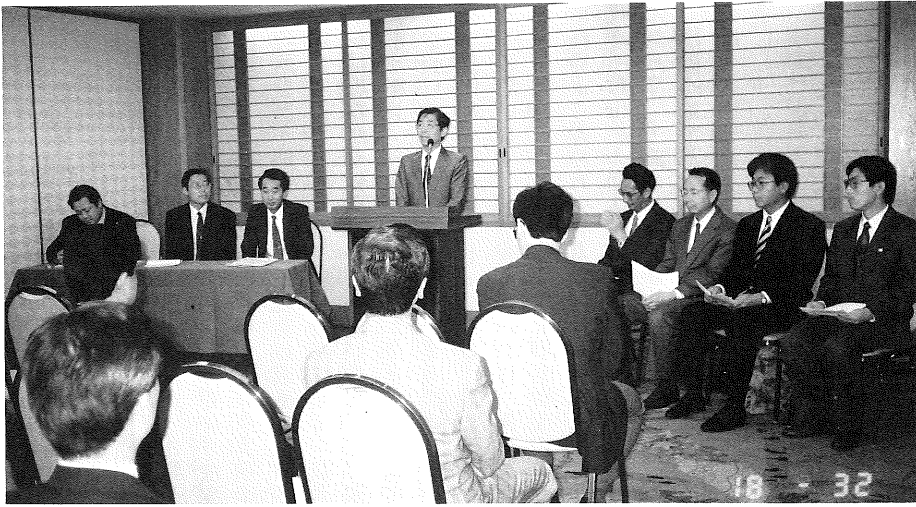
監 査
宇 津 木 俊 雄
(株)七映



監 査
木 島 照 夫
ダイ・コー印刷(株)

京青会総会開催

4月26日(火)、築地スエヒロ別館にて、平成6年度京橋支部印刷人青年会総会が開催されました。



た。開会挨拶のあと、議長を永井会長が務めて議事に入り、平成5年度事業報告、同収支決算報告が行われて、拍手で承認された後、6年度会長、幹事が選出され、新会長に高千穂印刷(株)専務、小山俊樹氏が選出されて、挨拶の後、新会長が議長となり、平成6年度事業計画案、同収支予算案の説明が行われ承認されました。続いて新入会員が3名紹介されました。満45歳になり、O.B.会員となる松岡氏(文海堂)へ記念品が手渡されて拍手を受けられました。

最後に来賓として出席した神林支部長が挨拶して、70周年記念事業への協力を感じてお礼を述べました。総会終了後は、別室にて懇親会が開かれて、皆さん余興を楽しんでいました。

中央区工団連総会開催

6月8日(水)、16時より中央区工団連定期総会が、加盟9団体の常任理事、理事出席の中で開催されました。まず神林副会長の司会により、開会され、丸副会長の開会挨拶のあと、平林工団連会長の挨拶に続き、平林会長が議長となり議事に移り、まず平成5年度事業経過報告が岸田副会長により説明されました。続いて同収支報告が十文字会計により行われて、会計監査報告が桜井監事より報告され、拍手でもって承認されました。続いて役員改選があり、平林会長が新年度会長に推されて拍手で承認されて、平林新会長を議長として、平成6年度事業計画案が城所副会長により説明され、同じく収支予算

案が十文字会計により読み上げられて、各々拍手で承認されました。議事は終了して、来賓祝辞へ移り、まず矢田中央区長が紹介されて挨拶し、中央区への平素の協力御礼と区の融資、助成の推進等を説明、又産業文化展への補助等について言及されました。続いて来賓挨拶は、高崎区議会議長、橋本区商連会長が挨拶を行って総会は終了、田島副会長が閉会の辞を述べました。5時からは別室で、ささやかな懇親会が催されて、平林会長の挨拶のあと、東商中央支部奥野事務長の音頭で乾杯して、新役員の懇親を深めました。



東京都火災共済協組

代理所会議

6月17日(金)、14時30分より、伊豆山・水葉亭に於て、東京都火災共済協組、東京都中小企業共済協組、全国商工共済振興事業団東京支所の代理所会議が開催されて、総勢450名もの人々が出席して行われました。開会の辞に続き、新理事長に専務から昇格した飯島氏が挨拶して、両宮前理事長(三栄信金理事長)のあとを受けて理事長に推されたのは、戦後発足時の中村元春理事長以来の事務局としての功績が評価されたものと思います。と感想を述べた後、飯島新理事長を議長にして、平成5年度事業概況報告が事務局より行われました。火災共済関係では、代理所数410組合団体、共済契約高が目標1兆円に対して、1兆2百億に達し、契約継続率は96.4(目標95%)となり、共済掛金額11億3千7百万円、共済支払金額4億2千5百万円(34件)でした。火災原因については放火が一番(44%)です。又中小企業共済の生命傷害は、代理所数248団体、被共済者数約3万人、3億2百万円、支払共済金1億3千6百円(373件)となっている。又全済団の自動車事故総合保障プランでは代理所数299組合団体、契約自動車数約2万3千台となっています。

次に優秀代理所表彰があり、平成6年度事業推進計画について説明のあと他府県共済理事長の来賓挨拶があり、閉会となりました。

尚、火災共済事業代理所別契約高では、東印工組は前年に続き、5年度も一位を占めております。(件数3,085件、共済契約高657億円。)(岩本)

顧問・相談役・参与の会

6月10日(金)5時から、躍金楼にて新執行部による顧問・相談役・参与の会が開かれました。

定刻過ぎ、十文字副支部長が開会の挨拶を行って、開催日を一週間延期した事をお詫びした後、新執行部の部長・監査の方々が自己紹介をしました。荒川支部長が挨拶をして、「これからは我国もアメリカの後を追って、マルチメディアへ進むのは遠くない。これからも、京橋支部の良い伝統を守りつつ、意欲的に勉強してゆきたい」として抱負を述べました。

続いて、斎藤顧問の発声で一同「乾杯」をして、暑さをしのぎ、久しぶりの顔合わせに皆さん話が入りました。そして会半ばに荒川支部長から、小宮山顧問より、小宮山印刷(株)70周年記念として、京橋支部へ花瓶の壺が贈呈された事が報告されました。そして神林支部長からは、退任前に、支部室マット及びタイル床清掃費用として、10万円が寄贈された事が報告されて、皆さんから拍手を受けられました。その後宴たけなわとなり、8時頃やっと小山相談役の手締めにより、お開きとなりました。(岩本)



地区だより

入船地区

「新緑の伊豆路」

入船地区懇親の旅

新緑の伊豆路、聞いただけでも爽快感を覚える。

今年の入船懇親会の旅行は例年の趣きを変えて幹事さんの特別の計いで「製紙工場見学」という非常に価値ある一味を加えたものであった。五月二十一日(土)、その朝は雲一つない五月晴れ。午前八時半、小瀬印刷本社前に新車のサロンカーが横付けになっている。旅は何といっても天気が主役である。心浮かすなど云っても無理な事である。会員二十五名、定刻に顔が揃った。中には、三日前の京橋支部総会で七十周年記念の大事業を成功させ、その重荷を下ろしたばかりの神林前支部長の顔も見える。氏にとっではこの旅行はひととき軽快で楽しいものであるでしょう。

バスのサロンに陣取る連中はだいたい決まっている。組合本部の新しい標語にある「情報の発信地」ならぬ騒音の発信地である。

当入船地区にある朝西紙商事様のお世話で「本州製紙岩瀨工場」見学が今回の目玉商品である。新車のバスは心地いいリズムで皆様の体にアルコールを誘う。しかし幹事の畑井さんか

らは工場見学が終るまでアルコールは一切ご法度の事。規制緩和は時代の風と無理な要求を出して畑井さんを困ませている。

目につけばいよいよ新緑、青い相模湾の海、そして秀峰富士の雪。この三点セットは日本人の永遠の美意識である。バスは第一目的地「岩瀨工場」に向って進む。道中の快適さは云うまでもない。何回かのSAでの休憩を取って、十一時定刻通り工場の門をくぐった。まず一行は工場の大会議室に案内され、そこで工場長のご挨拶を受けた。そして何班かに分かれ各班に担当者が付いて工場内の案内と説明になった。幸いに朝西の近藤さんが端から同乗であった事と、昔から使っている本州製紙のコロナの実物を見学するという事で、ある種の緊張はここにはなかった。

何回かの製紙メーカーの見学の経験があるのでマシンや設備の壮大さは皆様の中に消化されていたが、今回激流の様に翔ぶが如く流れていく紙がその一瞬ヤレが発生して竜巻の様に舞い上っているものをマシンの胴と胴との間に入っ

て素早くからめ取るその行動の速さ。修練された技に感銘を受けた。まさに命懸けである。通常考えてもみない事を目撃したので印象が余計に強烈である。なんでもそうであるけれど、現場・現物に優る教科書はないのである。



本州製紙(株)岩瀨工場見学研究会入船懇親会 平成6年5月21日

の皆様と朝西の近藤様にお礼の挨拶をして工場
のゲートを後にする。

工場見学を終ったあと、なんだか初心に返ったように清々しい気分になっていた。

車中アルコールが解禁になったとたん、ワイワイガヤガヤ。昼食は清水の朝陽館で中華ランチ。二時には東海大学社会教育センターを見学。その水族館が素晴らしかった。雑魚を問題にせず悠悠我が道を行く一頭のジンベイザメがおもしろかった。

今夜の泊りは修善寺温泉「せきれい荘」である。この旅館は普段は団体客を入れないことで有名であるので、落着いたはずまいである。吾会の旅馴れている連中には一言の文句もいわせなかった。

宴会は六時半から始まった。恒例であるが初めは小葉会長のスピーチ、そして斎藤顧問の乾杯の発声、そしてずらりと揃ったきれいな「こんばんわ」の声で幕が開けた。「スピーチ」「乾杯」「今晚わ」のこの三者は日本の文化であると荒川新支部長が常に云っている。入船懇親会は今回もこの伝統を継承している。

二次会、三次会の報告は省略させていただきます。翌日の朝もまた快晴である。第二日目の行程。まず朝の修禅寺の参拝。意外に思うのは、何回も修善寺温泉には来ているがこの修禅寺をお詣りするのとは初めてだという者が多いことだ。小生もその一人であるが……。朝のしじまを破って大きい声で般若心経を唱える者がいる。合掌して大きい声である。メンバーの一人、木村文

男氏である。勿論生真面目にである。氏は四国巡礼や秩父巡礼で鍛えているから本物である。一見異常に見えたこの光景に境内のさんざめきはしばらくは収まらなかった。

昼食は三津浜に出てシーパラダイスでのイルカ君達の芸を見てからである。いつも思う事はよくこれまで仕込んだものだという事と、人間共を茶化す彼等のユーモア。いろいろな事を考えさせられる。そして腹をかかえて笑った。

磯がゆ定食で満足して帰路についた。昨日の朝からの賑わいで疲れたのか眠っている者もいれば、一方サロンでは昨日からの続きで議論百出、普段絶対に聞けない大人達の会話にバスガイドのお嬢さんは聞いてはいけない風をして耳を傾けている。定刻四時に入船町に到着。

畑井幹事さんの格別な気配りと会員の皆様の協力で楽しい思い出の数々を作って、旅行は終わった。入船懇親会が又新たに進んだ。

同じ苦しみも楽しみも理解し得る者同士この会も戦後すでに四十年以上の歴史である。生きた人間同士からでなくては本当の楽しみは得られない。貴重な勉強も又生きた人間からでなくては得られないのである。同業者間の中に、入船懇親会も京橋支部もその存在理由がある事を、今回の旅行で再認識した次第です。

(文責 中島)

中央区工業団体連合会

宿泊研修旅行講演会

「会津若松市の産業について」

於・東山温泉・御宿東鳳



支部の動き

4月7日(木)東印工組臨時総代会、(14時～17時)

於・椿山荘、神林支部長他理事出席

4月11日(月)監査会・部長会、(11時～14時)監

査業務、次期予定案作成を検討

4月26日(火)本部理事会、(15時～17時)於・全

印健保会館、神林支部長他理事出席

4月26日(火)京橋支部印刷人青年会総会、(18時

30分～20時)、於・築地スエヒロ、神林支

部長出席

5月16日(月)中央区工団連正副会長会、(10時30

分～12時)、於・中央区役所

5月19日(木)通常総会開催、(18時～19時)於・

中央会館7階、司会 松川副支部長

。開会のことば 神林支部長

議長及び副議長の選出 佐藤・榎本氏

。議事

第1号議案、平成5年度事業報告

荒川副支部長

第2号議案、平成5年度収支決算報告

水野副支部長

平成5年度監査報告

金山・坂田監査

第3号議案、平成6年度事業計画(案)

荒川副支部長

第4号議案、平成6年度収支予算(案)

水野副支部長

第5号議案、次期役員承認及び紹介

神林支部長

。議長及び副議長の解任

。来賓紹介

挨拶・東印工組副理事長 田島一弥殿

中央区長 矢田美英殿

中央区工団連会長 平林智司殿

。閉会のことば 宮入副支部長

。懇親パーティ、(19時～20時)会費8千

円

進行 十文字副支部長

本部出向役員紹介・特別委員紹介

京青会新役員紹介

。中締 京橋支部顧問 斎藤喜徳殿

5月20日(金)中央区産業文化展実行委員会、(10

時30分～12時)、於・中央区役所

5月21日(土)京橋製本協同組合総会、(14時～16

時)、於・鬼怒川温泉サンシャイン鬼怒川

十文字副支部長代理出席

5月23日(月)部長・監査・地区長会、(11時～14

時)、於・支部室

。荒川支部長挨拶

。副支部長・監査・地区長自己紹介

。支部任務分掌について

。本部委員会担当について

。中央区工業団体連合会役員について

。中央厚生事業協同組合常務理事について

。当面する支部事業について

顧問・相談役・参与の会6月3日(金)予定

支部名簿の発行、9月予定、広告掲載、

支部報「京橋の印刷」の発行、7月下旬

。その他

中央区工団連宿泊研修旅行、6月12・13

日、会津若松・東山温泉、京橋40名、中

央区産業文化展、10月20日～25日、日本

橋プラザ3階、実行委員京橋3名、中央

区地場産業振興システム・デパート(J

SSD)計画について

。支部長・会計事務引継ぎ

5月24日(火)湊地区会、(18時～19時)、於・銀座

キャピタルホテル、荒川支部長出席

5月25日(水)中央区工団連常任理事会、(10時30

分～12時)中央区役所、荒川支部長他出席

5月26日(木)本部総代会、(14時～17時)、於・椿

山荘、荒川支部長他理事、総代出席

5月26日(木)中央厚生事業協同組合、(17時～19

時)、於・箱崎ロイヤルパークホテル、荒

川支部長、関根副支部長出席

6月8日(水)中央区工団連総会、(16時～17時)、

中央会館7階、荒川支部長他役員出席

6月9日(木)本部支部長会、(15時～17時)、於・

印刷会館4階、荒川支部長出席

6月10日(金)顧問・相談役・参与の会、(17時～

19時)、於・躍金楼、会費1万5千円

6月12日(日)～13日(月)中央区工団連宿泊研修行、

(8時30分～翌日18時)、於・会津若松・

東山温泉「御宿東鳳」、講演・会津若松の

産業について、翌日会津酒造博物館見学

6月16日(木)部長・監査・地区長会、(11時～14

時)、於・支部室

1、支部長報告事項

- 。野村理事長挨拶、他役員自己紹介
- 。支部長会の運営について
- 。支部長業務について(本部関係)
- 2、平成 6・7 年度委員会委員の構成
- 3、平成 6 年度支部に係わる主な事業
- 。『プリントズーム』購読料の取り纏め
- 。『プリントブック'94 東京』の周知
- 。敬老の集い、9/21、該当者名簿の取り纏め
- 。永年勤続従業員表彰者募集
- 。構造改善調査票の配布
- 。事業者台帳調査表の配布
- 4、主な具体的事業について
- 。プリンテック'94 東京、8/25〜8/27、晴海会場
- 。『後継者育成セミナー』
- 5、各種委員会報告
- 6、当面する支部事業について
- 。支部名簿発行について、広告申込 7/20 迄
- 。新年臨時総会開催地、日時について
- 。『京橋の印刷』の発行、7 月末予定
- 。アウトサイダーの加入勧誘依頼について
- 7、中央区産業文化展、10/20〜10/25 の出展内容
- 。その他
- 6 月 16 日(木)産業文化展印刷・製本部会、(14 時 30 分〜16 時)、於・支部室
- 印刷、京橋・日本橋、軽印刷中央支部、製

本、京橋・日本橋支部、電通他出席
 6 月 17 日(金)都中小企業火災共済代理所会議、
 (14 時 30 分〜16 時)、於・伊豆山・水葉亭、
 岩本書記代理出席

支部員の移動

脱退組合員

。(株)日刊スポーツ印刷社、前島広義殿(新富地区)が脱退されました。(4 月)

。(株)仰光社印刷、柳利雄殿が脱退されました。

(3 月)

支部移動

。シグマ紙業(株)東京工場(準組合員)は、港支部へ移りました。(1 月)

所在地変更

美研企画印刷(株)(新川地区)は、江東区木場
 3-14-4、TEL 5620-0211、FAX 5620-8000

7、へ移転しました。

お悔み申し上げます

▼新川地区、(有)一星社印刷所社長、石川毅一殿
 が逝去されました。(6 月)

編集後記

梅雨の中休みの猛暑で、エアコン業界は請けに入っています。このまま高温の夏が続けば、昨年のような低温による冷害は避けられそうです。瑞穂の国にとってはやはり米が豊作でな

れば景気が良くなりません。4 月以降、景況指数も明るさを増して来ましたが、スローテンポで従来の景気回復時の勢いは望めません。一方、国際収支は黒字基調による円高の進行が進み、輸出産業は採算割れで青息吐息です。この状態が続けば、海外進出できない企業は転廃業となり、国内産業の空洞化が進行します。将来、日本の産業は、個性的中小企業と農漁業、それに観光等を中心としたサービス産業だけとなってしまふのでしょうか。人口高齢化傾向からも、かつての繁栄は難しいようです。

通産省では、内需拡大に躍起となつて、『サマータイム』の PR に力を入れていますが、気象的に高温多湿の我が国では、夜遅くまで気温が高く、睡眠不足になるという訳であり歓迎されていないようです。それに昭和 20 年代の時と違って、大都市に人口が集中した現在では、朝の通勤ラッシュが問題となり、実現は難しいでしょう。

印刷業界も需要が減少の一方、労働時間の短縮等で採算割れの状況も予想されています。まだ当分、我慢比べが続くのでしょうか。

さて、当支部では、荒川新執行部が発足して順調に滑り出しました。今年には中央区産業文化展が、10 月 20 日から 25 日迄、日本橋プラザで開催されます。印刷・製本分科会でも、実行委員会を開いて、京橋・日本橋・軽印刷中央支部と一緒に企画・製作を進めています。皆様のご支援をよろしく願ひ致します。(岩本)